

辺野古・大浦湾の自然環境について

平成 29 年 1 月 23 日

辺野古新基地建設問題対策課

1. 海域生物の種数

| 区 分 | 数 |
|----------------|------------|
| 防衛局の調査で整理された種数 | 5, 8 0 6 種 |
| うち、絶滅危惧種 | 2 6 2 種 |
| うち、分類がなされていない種 | 1, 3 0 2 種 |

(参考) 那覇空港のアセス調査で把握された海域生物種数：約 3,000 種

2. 国内世界自然遺産における生物種数との比較

辺野古・大浦湾の海域には、国内の世界自然遺産地域を上回る生物種が確認されている。

| 地域 | 種数 | 備考 |
|--------|-------|-----------------------------|
| 知床 | 4,159 | 種数は陸域・海域の合計(区域面積約 71,100ha) |
| 白神山地 | 2,895 | 区域は陸域のみ(区域面積約 16,971ha) |
| 屋久島 | 4,606 | 区域は陸域のみ(区域面積約 10,747ha) |
| 小笠原諸島 | 4,392 | 種数は陸域・海域の合計(区域面積約 7,939ha) |
| 辺野古・大浦 | 5,806 | 種数は海域のみ計上(海域面積約 3,600ha) |

3. 分類がなされていない種について

- ① 沖縄防衛局の調査で確認された約 5,800 種のうち、約 1,300 種は分類がされておらず、種が同定されると多くは新種や希少種の可能性が高い。
- ② 1,300 種のうち 4 分の 3 (約 980) が新種だったとしても、このような狭隘な地域から発見される数としては、近年まれに見る膨大な数となる。
- ③ 国はそれらを学術的に調査することもなく、またそれらを保護する一切の措置を施すことなく工事を行おうとしている。
- ④ 膨大な新種生物群が絶滅する危機に瀕し、貴重な生物資源が地球上から永遠に失われることになる。